

公共施設のこれからを考えるシンポジウム

鳥取市では、将来にわたって公共施設を安心して使い続けていけるよう、施設の再編を検討しています。

本シンポジウムでは、「このまちでどんなくらしをしていきたいか」、「そのためにどんな施設が必要か」という視点で進めてきた検討の内容をもとに、公共施設のこれからについて考えます。



日時

令和8年

1 / 31 (土)

10:00 ▶ 12:00 (9:30 開場)

会場

鳥取市役所 市民交流センター
(麒麟 Square) 2階 多目的室1

参加無料

定員 30 名

【会場参加定員】

オンライン配信あり

申込

申込フォーム →
またはお電話で申し込み
締切：令和8年1月27日



第一部

10:00 ~ 10:50

▶ 基調講演

「住民主体のまちづくり」
～今後の公共施設のあり方を考える～

前橋工科大学准教授

堤 洋樹 氏

博士（工学）。専門は建築経済、建築生産、建築構法。「地域を持続可能にする公共資産経営の支援体制の構築（RISTEX、代表）」など公共施設管理に関する研究活動多数。

第二部

11:00 ~ 12:00

▶ 公共施設ワークショップ成果発表
(河原、用瀬、佐治地域)

▶ パネルディスカッション

「公共施設とまちの未来」

堤洋樹氏

(前橋工科大学准教授)

長曽我部まどか氏 (鳥取大学准教授)

ほか